



個人参加 動く市政教室 「春風の瀉めぐり」

実施日:令和4年4月14日(木)
市民生活部 広聴相談課

新潟市には、水と土が育んできた、さまざまな湖沼「瀉」が点在しています。春の風を感じながら福島瀉とじゅんさい池を巡り、「瀉」の魅力を再発見してもらいます。

時間	分	見学施設	所在地
9:00		① 市役所本館正面ロータリー 出発	
↓			
9:20		② 新潟駅南口貸切バス乗り場 出発	
↓			
10:00~11:00	60	水の駅ビュー福島瀉見学 福島瀉周辺散策	北区前新田
↓			
11:30~12:00	30	じゅんさい池公園(東池) ・東区地域課解説:じゅんさい池みらいプロジェクト について ・ガイドブックを持って自由散策	東区松園
↓			
12:30		解散: 新潟駅南口 → 市役所の順	

	応募数	参加数
4月14日	43	16

参加者からの主な意見・感想

全体を通しての意見・感想

- ・説明が大変に丁寧で理解できた。今の季節でなければ味わえない美しい風景だった。
- ・動物や植物の説明・潟や池の成り立ちが分かった。
- ・福島潟のレンジャーさんと東区役所の担当者の説明がとても分かりやすかった。
- ・菜の花も見ごろで桜も見られて久しぶりのお出かけで満足だった。何気なく見ていた景色も担当の方の説明でより深く知ることができた。半日コースで高齢者にはちょうどよかった。
- ・季節もよく専門的な説明もあり新しい発見がたくさんあり勉強になった。桜と菜の花が満開で気分よい半日だった。じゅんさい池の資料もよく作られていてしっかり読んだ。
- ・福島潟はオニバス、じゅんさい池は桜と、これだけの知識で参加したが知らないことの多さに驚かされる半日だった。

各施設の意見・感想

【ビュー福島潟】

- ・残った潟で命をつなぐ動植物の大切さ自分たちにも関係すること、分かりやすい説明で身近に感じた。鳥屋野潟と同様、水害から平野を守っていることも分かった。
- ・初めて訪れた。レンジャーさんの説明が明快で分かりやすかった。潟の中に点在する「ヨシの島」が他の潟には見られない福島潟独自の景観ということを知った。
- ・レンジャーさんの説明により深く理解できた。何度も行っているが、美しい・きれいだけで、説明がありよく分かった。
- ・ヒシクイが安心して暮らせる場所だと知り安心した。
- ・歴史的なこと保護と整備のこと、役割などが分かった。
- ・成り立ち、昔の潟の広さ、放水路のことなど、野鳥・植物・昆虫そして人間にとっても大切な場所だと分かった。
- ・13本の川が流れ込み、浸水対策で海に放水、干拓により今の潟になり、大切な宝があることなど学びが多かった。
- ・屋上からの全体の景観がよく福島潟の持っている重要性も理解できた。
- ・今に至るまでの潟湖の成り立ちや、付近一帯の干拓・水害防止する水門の建設などで貢献していることを初めて知った。
- ・丁寧な説明で、ヒシクイなど忘れていたことを改めて思い出した。できれば、ほかのエリアも歩いて回りたかった。

【じゅんさい池公園】

- ・外来種との付き合い方のよい案はないか深く考えた。
- ・住まいは近くだが知らないことが多く、説明がありがたかった。
- ・区で力を入れていることを初めて知った。住宅地の中の砂丘湖、残ったことが幸運に思う。
- ・じゅんさい池の成り立ち、地形など説明でよく分かった。都会の中にあって静かな空間は貴重なもの、東京世田谷区にある等々力溪谷を思わせる感があった。この景観が永く続くよう市でも格別の配慮をして欲しいと思った。
- ・ふるさとの潟に誇りを持って活動されていることがとても嬉しい。
- ・砂丘湖ということを知った。成り立ちが分かった。
- ・蛍が人工飼育であるとか、外来種の生物がじゅんさい池の自然を壊すことなど、新たなことを理解できた。ソメイヨシノの満開がよかった。
- ・外来種の問題はどこにでもあるようだが、外来種は取り締まれないものか。
- ・砂丘湖なこと、二つの池から成り立っていることが分かった。

※いただいたご意見等は、広聴相談課でまとめて各見学施設や関係課・者へ伝えます。